

令和2年度 評価事業一覧

No.	事務事業名	担当課名	班名	令和2年度 評価
1	放課後児童健全育成充実事業	教育推進課	幼児総務班	A
2	就学援助事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
3	奨学資金事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
4	学校生活支援員配置事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
5	学力向上対策事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
6	友好都市との学校間交流推進事業 (旧 友好都市等との学校間交流推進事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A
7	官学連携事業	教育推進課	教育総務・指導班	-
8	子どもの感性・創造力育成事業	教育推進課	教育総務・指導班	B
9	不審者対策事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
10	新聞活用教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
11	外国語教育充実事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
12	ホストタウン推進事業(中学生交流事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A
13	家庭教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
14	青少年教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
15	成人教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
16	高齢者教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
17	芸術鑑賞事業	生涯学習課	社会教育班	A
18	芸術文化活動事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
19	芸術文化団体支援事業	生涯学習課	社会教育班	B
20	学習成果発表事業	生涯学習課	社会教育班	B
21	美郷カレッジ開催事業 (旧 みさとびと育成プログラム事業(美郷カレッジ))	生涯学習課	社会教育班	A
22	伝統行事等伝承事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
23	成人式事業	生涯学習課	社会教育班	A
24	後三年合戦関連事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
25	わら細工文化事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
26	ブックスタート事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
27	読書環境向上事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
28	文化財保護事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
29	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
30	ニュースポーツ教室等事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A
31	冬期スポーツ教室事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
32	少年スポーツ振興事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A
33	町民スポーツ大会事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
34	スポーツ活動支援事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
35	ホストタウン推進事業(交流キャンプ推進事業)	生涯学習課	スポーツ振興班	A

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	放課後児童健全育成充実事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	幼児総務班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2409)
事業の目的	放課後や長期休業時、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。			
事業の内容	保護者が帰宅するまでの間、児童の保護及び遊びを主とした健全育成活動を行うとともに、その環境を整える。			
事業の対象	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校児童			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	46,912 千円	15,648 千円 <small>※人件費総務課管理</small>	15,375 千円 <small>※人件費総務課管理</small>
評価年度目標 (目指すべき姿)	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に「高学年児童放課後対策事業」と「放課後児童健全育成充実事業」を一本化した。 就労等の理由で保護者が放課後時間帯に監護できない児童に対し、安心して過ごせる場所を提供することができた。 希望する全ての児童を引き受けることができた。 令和2年度登録数 315人(令和元年度登録数 323人) 支援員又は支援補助員が県主催の研修を受講し、資質向上を図った。 放課後支援者研修会(参加者数 3人) 放課後児童支援員等資質向上研修(参加者数 4人) 放課後児童支援員認定資格研修(参加者数 3人) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	希望者全員の受け入れができ、支援員の資質向上や児童の居場所の確保など健全育成の充実を推進することができた。また、放課後児童クラブでの過ごし方や規律等について、児童による自治活動や児童同士の交流がみられ、年齢や立場に応じた立ち振る舞いができる環境が整備されている。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	部局評価のとおり

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	就学援助事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)
事業の目的	経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し、教育に必要な経費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。			
事業の内容	生活に困窮していると認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費、医療費等の給付金を支給する。			
事業の対象	生活保護法(昭和25年法律第144号)第6条第2項に規定する要保護者とそれに準ずる程度に困窮していると認められた者			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	9,457 千円	9,502 千円	12,515 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	小・中学校児童生徒の全保護者への個別通知及び町広報紙や町づくりガイド、町ホームページへの掲載のほか、関係課(福祉保健課等)・各学校と連携して制度の周知を広く行い、就学に必要な経費を補助し、教育機会均等の保持を図る。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校児童生徒の全保護者への個別通知及び町広報2月号・町づくりガイド、町ホームページに掲載し、広く制度の周知を行った。また、関係課や各学校と連携を図った。 社会情勢の変化に伴う経済的影響を受けている保護者の負担軽減の一助となった。 令和2年度就学援助児童生徒数 小学生65人 中学生38人 計103人 (令和元年度 小学生66人 中学生42人 計108人) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	関係課・各学校と連携しながら制度の周知を行い、就学援助認定者の経済的負担を軽減している。今後も社会情勢や経済・雇用情勢の変化等に応じ、教育機会均等の保持を図っていきたい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)
事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により高等学校、高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。			
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で修学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高等学校 月額15,000円 ・高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学 月額40,000円以内(1万円単位)			
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者。 (1)身体強健、品行方正で学業優良な者 (2)美郷町住民の子弟 (3)学資金に困難な者			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	10,339 千円	7,819 千円	15,746 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	①貸与: 予算の範囲内で、経済的理由等により修学困難な者に学資を貸与し、有用な人物の育成を目標とする。 ②償還: 歳入確保に向けて、返還者一人一人の経済状況に応じた返還計画に基づく償還、また未納者に対しては催告の回数を増やす等対策を行い、回収率の向上に努めることを目標とする。			
実績・成果等 (数値)	①貸与 ・住民からの要望を受けて、令和2年度より大学等に在籍している継続奨学生の貸与月額を4万円以内1万円単位で年度初めに再選択できるように規則を改正した。 ・町広報紙(3月号)と町ホームページで奨学生募集について周知した。応募者は大学・短大枠5人、専修学校枠1人で、選考の結果全てに貸与が決定した。 歳出(貸与): 令和2年度奨学生貸与者数17人(内新規貸与者数6人) ②償還 ・返還者との納付相談、また未納者への通知、電話、訪問等の対策により回収率の向上に努めた。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会情勢の悪化に配慮し、返還猶予制度について返還者全員に通知した。 歳入(償還): 令和2年度 未納額392,000円、未納者数3人 収納率98.12% (前年度比0.38%増)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	貸与については、予算の範囲内で応募者全てに対応できている。償還については、社会情勢の悪化による経済的影響を受けた方との納付相談、また未納者への電話や通知、訪問等による催告等の対策を行った結果、前年度収納率を上回り、未納額・未納者とも減少することができた。今後も経済的な理由により大学等の修学に困難な美郷町出身学生に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を支援したい。			
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	令和2年度から継続貸与奨学生も個々の状況に応じて、年度初めに貸与月額の再選択が可能となったことは、大変良いことである。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	学校生活支援員配置事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)
事業の目的	発達障害や語学力不足など、教育上特別な支援を必要とする児童生徒を指導する教員を補助するために職員を配置し、当該児童生徒の学校生活を支援する。			
事業の内容	学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒のために支援員を配置する。			
事業の対象	町内小・中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	27,130 千円	6 千円 <small>※人件費総務課管理</small>	19 千円 <small>※人件費総務課管理</small>
評価年度目標 (目指すべき姿)	特別な支援を必要とする児童生徒に、学校生活支援員が適切な支援を行うことで、学校運営が円滑に行われるようにする。			
実績・成果等 (数値)	学校生活支援員の配置数 19人 (内訳:小学校15人、中学校4人) 小学校:各学校5人で1,2年生学級及び特別支援学級を支援 中学校:各学年担当1人、特別支援学級担当1名の計4人			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	令和2年度の学校生活支援員は令和元年度と同様、各小学校5人、中学校4人配置となった。配置した学校生活支援員を対象に、町教育委員会主催の研修会を実施し、子どものニーズに応じた支援の充実を図った。一人一人に寄り添った支援の実施により、円滑な学校運営に寄与しており、支援を要する児童生徒が最近増える傾向があることから、学校からは増員配置の要望も含め期待も大きい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	本町の学校生活支援員は、大変質の高い方々である。これからも技術の向上に努めてもらいたい。また、学校からの増員要望について検討をお願いしたい。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	学力向上対策事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	児童生徒の課題に対応した取組を推進し、学力の向上を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着度調査、計画的な学習を実施するための検査の実施 学習状況調査の分析・活用と校内研修改善、授業力向上支援事業の実施 			
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 学力検査(国語・算数):全小学校1、2、3年生 知的発達検査:全小学校2、5年生 中学校1年生 授業改善・研修活動改善研修会 			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	1,101 千円	996 千円	1,082 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	学習状況調査と学力検査・知的発達検査を実施して状況を把握し、課題の改善に向けた研修を実施する。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 美郷町校内研修改善・授業力向上推進事業として、秋田大学教授を指導者に迎え、各小中学校で算数・数学の授業研究会を各校1回実施 美郷町学力向上授業改善研修会の実施 個々の授業改善をねらいとする、全教員一人1回以上の町内他校の授業参観の実施 令和2年度県学習状況調査(小4～中2)における県平均以上の教科:21教科中15教科(小学校4年～6年:11教科中9教科、中学校1・2年:10教科中6教科) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<p>本事業の実施により、児童生徒の学習到達度及び課題を分析し、各校と連携して基礎学力の定着に取り組んできた。県学習状況調査では、小学校、中学校ともに県平均を上回る教科数が増え、2年連続で高い水準を維持することができた。新学習指導要領の実施に伴い、知識・技能の定着と思考力、判断力、表現力の育成に向け、今後も一人一人の学力を最大限に伸ばしていくために、この事業を充実させていきたい。</p>			
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	友好都市との学校間交流推進事業 (旧 友好都市等との学校間交流推進事業)		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部と都市部の交流を通じ、児童の豊かな人間性を育む。 ・授業への参加や地域の方々とのふれあいを通して、それぞれの学校や地域のよさ、違い、課題などをつかむ。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千畑小学校と港区立御田小学校の交流(昭和52年～) ・仙南小学校と文京区立千駄木小学校の交流(平成27年～) ・六郷小学校と大田区立高畑小学校の交流(平成28年～) 			
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・千畑小学校4～6年生、御田小学校4～6年生 ・仙南小学校5～6年生、千駄木小学校全校児童 ・六郷小学校5、6年生 			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	950 千円	0 千円	900 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町や自校の紹介を通してふるさとのよさに気づき、学校や地域に対する考え方やまわりの人たちとの接し方を見つめ直すきっかけとする。			
実績・成果等 (数値)	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3小学校ともに訪問と受け入れによる交流は中止となったが、次のように交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【六郷小学校】地域や学校を紹介する新聞やDVDを通しての交流(3年生以上の各学年) 【千畑小学校】地域や学校を紹介する新聞を通しての交流(4年生) 【仙南小学校】地域や学校を紹介するクイズ等を内容にした3回のオンライン交流(5年生) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	3小学校では、新聞やDVD、オンライン等、交流のスタイルを工夫しながら活動を実施した。交流活動を通して、児童は美郷町と他の地域との間の共通点や相違点に気付いたり、それぞれのよさを見つめ直したりすることができた。また、各校では交流先の学校から届いた新聞等を校内に掲示したり交流の様子を学校報で紹介したりするなど積極的に取組を発信している。訪問での交流に加え、学習を通じた交流の充実を図り、継続実施していきたい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	学校間の相互訪問ができないコロナ禍において、オンラインを活用するなど工夫を凝らし、最大限の交流を精一杯頑張っている。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	官学連携事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)
事業の目的	秋田大学、国際教養大学と町内の園・学校が相互交流を行うことにより、児童生徒に上級学校へのあこがれをもたせ、異文化体験による国際理解を図る。			
事業の内容	秋田大学生による水に関するコンサートの実施、国際教養大学の留学生を園・学校行事に招いたり、大学を訪問したりして交流する。			
事業の対象	町内園児、小・中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	84 千円	0 千円	180 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町内各園、小・中学校が国際教養大学留学生との交流を通して、国際感覚を磨き、視野を広げる。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田大学・・・美郷フェスタ開催中止に伴い中止とした。 ・国際教養大学・・・新型コロナウイルス感染症の影響により、大学側から本事業の中止の申し出があり中止とした。 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	<p>秋田大学生によるコンサートは、水に関する曲を織り込んだ内容で、水環境を大切に する町としてのPRと郷土愛の醸成に寄与する事業である。国際教養大学の留学生との 交流は、園児・小学生・中学生の希望に応じた交流活動の実施が可能であり、異文化 への興味関心や理解、コミュニケーションへの意欲を高めることが期待できる。両事業と も大学側との連絡調整を密にし、現状を踏まえた工夫改善を図り、事業を実施していく ことが課題である。</p>			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	—	評価委員意見	事業中止のため評価なし	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	子どもの感性・創造力育成事業	担当課名	教育推進課	
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班	
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	各分野において第一線で活躍している方々の一流の芸術を鑑賞したり、様々な体験を行ったりする活動を通して、子どもの感性、創造力の育成を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内3小学校児童、美郷中学校生徒を対象とした芸術鑑賞会の開催 ・自由研究コンテストや宿泊体験活動の実施 ・学校交流音楽祭の開催 ・小学校5、6年生交流会(美郷キッズわくわく交流会)の実施 			
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞「ドリーム体験!ほんもの講座」: 3小学校1~6年生、中学校1~3年生 ・自由研究コンテスト: すべての小・中学校 ・宿泊体験: 3小学校4年生 ・学校交流音楽祭: 小・中学校の金管バンド部・吹奏楽部 ・美郷キッズわくわく交流会: 3小学校5、6年生 			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	2,965 千円	2,931 千円	5,489 千円
評価年度目標(目指すべき姿)	第一線で活躍している本物のパフォーマンスに触れたり、興味や関心をもったものに熱中して取り組んだり、研究を深めたりすることにより、子どもたちの感性を育み、視野を広げる。			
実績・成果等(数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、宿泊体験活動、学校交流音楽祭、小学校5、6年生交流会は中止した。 ・ほんもの講座: 小学校1~4学年「わらび座 和ライブ」大変良かった91.8%/よかった7.6% 小学校5・6学年「わらび座 劇」 大変良かった94.2%/よかった5.0% 中学校「わらび座 ミュージカル」 大変良かった81.3%/よかった17.6% ・自由研究コンテスト: 出品数 257作品(前年比△26作品) 			
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明及び考察	<p>「ほんもの講座」は、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた出演団体の変更や分散開催等の対応により、全学年で実施することができた。子どもたちの満足度はアンケートの高い数値にも表れている。本事業は、どれも子どもたちの感動や発見を生む貴重な内容であり、新型コロナウイルスへの感染防止対策を最重点に実施方法と内容等を工夫し、継続実施したい。</p>			
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	<p>コロナ禍において各種事業が中止となる中、子どもたちが地元で活躍しているプロの方々の本物の芸術に直接触れることができ、大変有意義な事業であった。</p>	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	不審者対策事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2407)
事業の目的	子どもたちを不審者から守り、安全な学校生活を送ることができるよう不審者対策事業を行う。また、安全・安心メールを利用した迅速で正確な情報提供を行う。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時の見守り活動 ・安全・安心メールによる不審者、危険動物、気象、熱中症、感染症等の情報提供 ・子ども安全集会の開催 			
事業の対象	児童生徒、町民の方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	91 千円	92 千円	107 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心メール連絡システムを運用し、迅速で正確な情報を保護者及び関係者に伝え、児童生徒の安全を守る。 ・地域の方との連携により子どもたちを不審者等から守る。 			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーや見守り隊員(地域住民・PTA)による登下校時の見守り活動を実施した。 ・安全・安心メール連絡システムは、全認定こども園、小学校、中学校の保護者が登録し、不審者情報の他、危険動物、気象、熱中症及び感染症の注意喚起などについて、迅速かつ正確な情報を提供した。 ・子ども見守り隊員・子ども110番の家の方々を対象とした「子ども安全集会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーや子ども見守り隊員による登下校の見守り活動を実施し、子どもたちを不審者等から守ることができた。 ・安全・安心メールにより、保護者等に対し不審者情報のほか危険動物、気象、熱中症及び感染症の注意喚起など、より迅速で正確な情報を伝えることができた。 ・子ども安全集会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度に引き続き令和2年度も開催中止となったが、地域の方との連携・強化を図るためにも実施を継続したい。 			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	新聞活用教育推進事業	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2404)
事業の目的	親しみや興味をもって新聞を読むことができるようにすることで、社会情勢や文化的なこと等への理解や関心を高めるとともに、読解力や判断力、表現力の育成を目指す。		
事業の内容	小・中学生を対象に、新聞活用教育の推進(平成29年度～) (小学校4年生～中学校3年生に週1回配付)		
事業の対象	・小学校4～6年生 ・中学校1～3年生		
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算
	金額	650 千円	738 千円
			令和3年度予算 1,072 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	新聞を読むことで、身の周りの様々な事象に対して、興味関心をもち視野の広い児童生徒の育成を目指す。		
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校ともに5月より対象児童生徒に子ども新聞・中高生新聞を配付 ・美郷中学校に閲覧用の英字新聞1部、各学級に地元新聞社の新聞を配付(12月から) ・美郷中学校はNIEの指定校として、新聞を活用した生徒会による取組や、新聞記事の中から全校共通テーマを設定し、意見交換する取組を行った。 ・全国学力・学習状況調査質問紙から(美郷町:令和2年度結果、全国:令和元年度結果) 「地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある。」 【小学校6年生:美郷町78.0%、全国54.5% 中学校3年生:美郷町63.6%、全国41.2%】 		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	毎週1回の新聞配付や閲覧コーナーの設置に加え、各校では新聞記事を活用した様々な取組が行われており、新聞が児童生徒にとって身近なものとなってきている。授業や家庭学習での活用を通して、社会に対する興味関心の高まりや読解力、判断力、表現力の育成につなげていくことが重要である。		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	中学校に閲覧用英字新聞の配置や各学級に新聞を配付するなど事業を拡充しており、令和元年度以上に成果を上げている。

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	外国語教育充実事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	新学習指導要領に対応した児童生徒への外国語教育の充実と国際交流の進展を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ALT(外国語指導助手)3人を小中学校に、英語教育等支援員1人を小学校に配置 美郷町「英語教育向上推進事業」の実施 			
事業の対象	町内小・中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	17,254 千円	15,964 ※支援員人件費 総務課管理 千円	15,926 ※支援員人件費 総務課管理 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	ALTおよび英語教育等支援員を配置し、外国語教育の推進と充実を図る。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ALT3人のうち2人を美郷中学校、1人を主に小学校に配置 小学校5・6年生の外国語の授業と中学校の英語の授業では、週時間の半分(小:週2時間の内1時間、中:週4時間の内2時間)の授業でTT(ティームティーチング)を実施 英語教育等支援員を曜日毎に3小学校配置。専科教員や担任とのTTを実施 国際教養大学の准教授2人を招き、美郷町「英語教育向上推進事業」授業研究会実施(期日:11月18日 会場校:仙南小学校・美郷中学校、参加者:74人) 令和2年県学習状況調査より「外国語活動・外国語の勉強は好きだ」(県平均との比較)小4:95.2%(+13.9)小5:73.8%(△6.6)小6:79.1%(+1.1)中1:79.9%(△0.8)中2:69.8%(△0.6) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	ALTと英語教育等支援員の配置により、各校の外国語教育のねらいと指導計画に対応した授業を行うことができた。反面、英語への苦手意識が改善されない児童生徒もおり、一人一人に応じた指導の充実を図るうえでも、ALTや英語教育等支援員配置の重要性・必要性が増している。充実した取組を継続実施する必要がある。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	ホストタウン推進事業 (中学生交流事業)		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	タイ王国の言語・風習・文化等にふれながら異文化理解を深め、同年代の中学生と交流することにより、コミュニケーション力や国際感覚を身に付ける。			
事業の内容	美郷町と教育交流協定を締結しているタイ王国ノンタブリー県の中学生と、ホームステイ等を体験し、生きた英語にふれながら、生活様式、習慣等を学ぶ。併せて、タイ王国の自然、文化、歴史、産業等を学ぶ。			
事業の対象	中学校1～3年生			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	3,312 千円	34 千円	3,814 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	異文化にふれ、視野を広げるとともに、他国の中学生と積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする積極性や態度を育成する。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により相互訪問交流は中止となった。 ・ホストタウン推進事業に係る「応援ビデオメッセージ実施事業」として、タイ王国ノンタブリー県アヌラチャプラシット校にビデオメッセージを送る。 <ul style="list-style-type: none"> ■収録日:6月10日 ■参加者:美郷中学校生徒会執行部・インターアクト部21人 ・タイ王国ノンタブリー県アヌラチャプラシット校とのオンライン交流実施 <ul style="list-style-type: none"> ■実施日:3月16日 ■参加者:美郷中学校側:生徒会執行部・インターアクト部18人、学校関係者5人 アヌラチャプラシット校 側:生徒約15人、学校関係者8人 ■内容:学校と周辺の紹介、タイ訪問の思い出、事前に送付した質問を通したやりとり 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である	
	<input type="checkbox"/> あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	
<input type="checkbox"/> あまり寄与していない				
経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		
<input type="checkbox"/> できていない				
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		
<input type="checkbox"/> 達成できていない				
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	訪問交流は中止になったが、ビデオやオンラインでの交流を通して、生徒同士がつながりをもつことができた。オンラインでの交流に参加した生徒の半数以上が是非タイを訪問したいと答えるなど、タイ訪問交流への興味関心は高まっている。実際に訪問できない場合の交流の在り方について検討していく必要がある。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	
<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価	A		評価委員意見	タイ王国ノンタブリー県アヌラチャプラシット校と美郷中学校の生徒相互訪問ができないコロナ禍において、オンラインを活用するなど工夫を凝らし、最大限の交流を精一杯頑張っている。

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	家庭教育事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)
事業の目的	心身ともに健やかな子どもを育むために、家庭教育に関する学習機会を提供する。			
事業の内容	①就学時健診子育て講座 (湯野澤兄一氏「子どもの伸ばし方ー「やる気」を引き出すコツー」) ②親力アップ講演会 (上村佐知子氏「子どもたちの心の問題とネトゲ依存」) ③幼児期家庭教育講座 各こども園で園児と保護者が一緒に受講			
事業の対象	①就学時健診対象児の保護者 ②小中学校PTA会員、認定こども園保護者会員、地域住民 ③各こども園園児、保護者			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	408 千円	68 千円	514 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	家庭や地域全体で子育てや教育を応援し支えていくための学習機会を提供する。 講座満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	①満足度 82.63%、受講者数 115人(千畑 42人、六郷 41人、仙南 32人) ②満足度 87.28%、受講者数 249人(六郷小学校会場89人、仙南小学校会場160人) ③新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	①家庭教育を充実させるための心構えや、インターネットセーフティーについて県の協力により実施した。 ②学校、PTA、保護者会、PTA連合会と連携し、多くの方々から受講していただくことができた。講座の満足度も高く、事業の継続を求める声も多い。 ③新型コロナウイルスの状況を踏まえ実施を見送ることとなったが、リモート開催も含め検討する必要があったと考える。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	幼児期家庭教育講座については、保護者の方からの要望やニーズに応えるような事業内容、実施方法についての検討をお願いしたい。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	青少年教育事業	担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班	
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	子どもたちの健やかな成長の一助となるよう、様々な体験活動や学習の場を提供する。			
事業の内容	①わくわくスクール(夏休み、冬休み) ②コズミックカレッジ(JAXAプログラム) ③地域学校協働本部事業の実施			
事業の対象	①、② 参加を希望する小学生(回によっては保護者参加可能) ③ 町内、小中学校			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	624 千円	268 千円	641 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもたちが意欲的に参加し、学年や男女問わず楽しく学習できるプログラムを提供する。 ①、② 満足度80%以上 ③ 対前年比 +5%			
実績・成果等 (数値)	①わくわくスクール サマースクール(1回) 満足度92.6%、参加者数 27人 ウインタースクール(1回) 満足度 96.0%、参加者数25人 ②コズミックカレッジ(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止) ③学校協働活動ボランティア 対前年比△35.8% (延べ 協力回数54回、協力者数136人)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	わくわくスクールは、参加者アンケートの満足度が非常に高く、青少年教育事業として定着している。昨年度からは家庭教育事業との連携で保護者も参加できるようにし、保護者同士の情報交換や家庭教育支援チームとの交流ができた。 地域学校協働本部事業は、学校からの要請に応じて活動するため、コロナ禍により協力回数が大幅に減少となったが、地域と学校の結び付きを維持するきっかけとなることから、引き続き学校への働きかけに努めていきたい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	成人教育事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)
事業の目的	町民の余暇活動の充実を図り、いきいきと活力にあふれる地域社会を創るための学習講座を開催する。また、体に不自由を抱える方の社会参加を後押しするため、障害者を対象とした学習機会の提供を図る。			
事業の内容	生涯学習講座の開催			
事業の対象	受講を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	325 千円	224 千円	395 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	継続の講座に加え、新規講座で学びの機会を増やすことで余暇活動の一層の充実を図る。また、生涯学習講座の自主サークル化を図る。 目標値 生涯学習講座の自主サークル化 50%以上			
実績・成果等 (数値)	受講者数 ・ 詩吟入門講座 12人 ・ お菓子作り講座 14人 ・ パステル和アート講座 (障害者対象) 5人 ・ 家庭料理講座 10人 自主サークル化 100% (対象講座：家庭料理講座)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	いずれの講座も、回を重ねるごとに、講師と受講生、受講生同士が打ち解け、よりよい講座になるよう協力し合う姿が見られる。2年目終了の家庭料理講座は、自主サークルとして活動することとなった。また、障害者を対象とした生涯学習講座を初めて開催し、障害のある方の学習機会の拡大にも寄与している。今後も講座の開設にあたっては、住民のニーズに留意し取り組むことが必要と考える。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	高齢者教育事業	担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班	
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)	
事業の目的	心身ともに元気で生きがいをもって暮らせるよう、楽しく仲間づくりができる学習や交流の場を提供する。			
事業の内容	美郷いきいき大学の開催(年6回)			
事業の対象	60歳以上の町民で受講を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	145 千円	78 千円	408 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	高齢者が生きがいを持って継続して受講できるように、参加型の講演会や町外研修、創作活動等、魅力のあるプログラムを提供する。 目標値 参加者数対前年度+5%、満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	当初、6回の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、2回のみで開催となり、また、コロナ禍で参加を見合わせる受講生も多かった。創作活動は、当日大雪の影響で四分の一がキャンセルとなった(受講者/開講式73人・創作活動57人)。一年の振り返りとしての満足度調査は、閉講式が中止となったため実施していない。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
事業の 方向性	コロナ禍で、開講式が9月にずれ込む等変則的な開催になり、実施回数、受講生とも多くなかったが、感染症予防に細心の注意を払い、参加者の満足度を上げられるよう、内容や進行の仕方に一層気を配った。創作活動の時計づくりでは、脳トレのレクリエーションも織り込み、「気持ちがあほぐれた」との感想も聞かれた。今後も、アンケート調査の分析などを行い、魅力的なプログラムの提供を図っていきたい。			
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	芸術鑑賞事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4102)
事業の目的	レベルの高い芸術・文化に触れる機会を提供し、芸術文化の振興を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みさとのうたCD Vol.2制作(関係者及び希望者へ無償配布) ・自衛隊音楽隊コンサートの開催 ・美郷中学校吹奏楽部員への演奏指導の実施 			
事業の対象	観覧及びCD配布を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	831 千円	1,020 千円	1,433 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	令和2年度で、23年連続24回目のコンサートとなり住民の方へも定着している。中学生への音楽指導など、コンサート以外での音楽隊との交流を図る。 目標値 満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・陸海空各自衛隊音楽隊によるCD音源収録が完了(CD400枚作製) ・陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート 入場者数 200人、観覧者満足度 99.40% ・美郷中学校吹奏楽部への演奏指導(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	新型コロナ感染対策のため、会場定員の半分の入場者で実施した。鑑賞された方からは「コロナ禍の中、開催していただきありがとうございます。毎回楽しみにしているので、来年もお願いします。」「町外から来ました。美郷町が一つになっていてコンサートを楽しんでいるので私も町民になったようでした。また機会があれば参加したいです。」など好評をいただいた。コンサートは定着しており、住民の期待も非常に高いことから、住民が芸術に触れる機会として取り組む必要がある。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	芸術文化活動事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040 (3405)
事業の目的	住民の豊かな心を養い、芸術・文化に触れる機会を創出する。			
事業の内容	学友館特別展を開催することで優れた芸術・文化に触れる機会を提供し、個々の個性と想像力を育む。			
事業の対象	町内外の観覧を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	8,625 千円	9,253 千円	14,995 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	住民が芸術文化に触れる機会を創出し、豊かな心を養う。 目標値 各展 入館者1,000人以上、満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・美郷町・大田区友好都市提携15周年記念特別展「川端龍子－風雲児の日本画－」 (10月31日～11月29日、入館者:1,343人、満足度:95.7%) ・「大小島真木“起源と対話”木・火・土・金・水 Origin and dialogue / wood,fire,earth,metal,water」 (12月19日～1月24日、入館者:1,465人、満足度:95.8%) <p>※新型コロナウイルス及び東京五輪開催延期に伴い、ヨネックス展は令和3年度に延期、県展第18回仙北地域展は開催中止。</p>			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮しての実施となった。 ・川端龍子展では、日本画の巨匠の大型作品を間近で鑑賞でき、多くの来場者から高評価をいただいた。大小島真木展では、大小島氏と会期中に多くの方がふれあい、各作品の鑑賞をより深めることができた。 ・各展とも、来場者は目標を大きく上回り、アンケートによる満足度は9割を超えた。芸術文化に触れたことで豊かな心の醸成につながっていることから、来館者の興味を引く企画や展示内容の充実を図っていく必要がある。 			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	部局評価のとおり

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	芸術文化団体支援事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)
事業の目的	芸術文化団体の活動を支援する。			
事業の内容	美郷町芸術文化協会やかけ唄保存会などの芸術文化団体の事業に対して補助を行う。			
事業の対象	芸術文化団体			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	372 千円	254 千円	672 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	団体の事業に対して補助金を交付することで、団体の活動が活発化する。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・美郷町芸術文化協会補助金 182,000円 補助金を活用し、芸術文化賞の選考・授与、会報の発行・配布、会員研修などを実施した。 ・かけ唄保存会補助金 72,000円 補助金を活用し、熊野神社で68回目となる全県かけ唄大会が開催された。 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<p>助成により町芸術文化協会の活動が活発化し、会員相互の交流が図られた。また、会報「芸文協だより」の発行や芸術文化賞の選考・授与等により、町民の芸術文化への関心も高まった。</p> <p>かけ唄保存会については、68回目となる全県かけ唄大会をリモートにより開催し、伝統芸能の保存につながっている。</p> <p>今後も、芸術文化団体のさらなる活性化のため、支援を継続したい。</p>			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	学習成果発表事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4102)
事業の目的	学習成果を発表する機会を提供することで、会員の学習意欲向上を図る。			
事業の内容	美郷フェスタ文化展、新春囲碁・将棋大会の開催			
事業の対象	・町の生涯学習講座受講者、サークルや団体の会員等で出品を希望する方 ・囲碁、将棋に興味のある方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	55 千円	14 千円	47 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯学習講座の受講生やサークル・団体の会員等で出品を希望する方にも美郷フェスタへの出展を促し、学習意欲を喚起する。また、新春囲碁・将棋大会については幅広く参加を呼び掛ける。 目標値 美郷フェスタ文化展出展者数 250人以上			
実績・成果等 (数値)	・美郷フェスタ文化展 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 (令和元年度出展者数 229人 741点) ・新春囲碁・将棋大会 参加者数 11人			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	美郷カレッジ開催事業 (旧 みさとびと育成プログラム事業 (美郷カレッジ))		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4102)
事業の目的	美郷町内外の方が、創造的で充実した人生を送り、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加していただくための学習機会を提供する。			
事業の内容	美郷カレッジの開催(9月12日から12月5日まで 計5講座)			
事業の対象	町内外で受講を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	794 千円	676 千円	909 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	地域づくりや地域文化創造に寄与する人づくりのため、魅力ある学習機会を提供する。 目標値 講座満足度80%以上、受講者数240人以上			
実績・成果等 (数値)	講師:内田裕子氏、小林千秋氏、高階秀爾氏、小池一子氏(リモート開催)、 小坂佳子氏(リモート開催) 満足度 89.1% 受講者数 355人(町内約84%、町外約16%) 今後も受講希望 98.2%			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
事業の 方向性	「躍(やく・おどる)」を共通テーマとして、芸術、経済、マスメディア、運輸(航空)の5講座を開催した。身近な分野から専門の事項まで、各界の第一線で活躍する幅広い講師陣を招聘することにより、受講者の知的好奇心が掻き立てられていることがアンケートから読み取れる。 また、新型コロナウイルスの感染拡大により、第4回目と第5回目はズームを活用したリモートにより実施した。初めての取り組みであったが、双方向でのやりとりなどは参加者からも好評であった。全体の満足度は約9割。継続受講希望者も9割を超えるなど、事業への期待は非常に高いものと考えられる。			
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	伝統行事等伝承事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3408)
事業の目的	伝統行事を地域で継承することで、地域活動の活性化を図る。			
事業の内容	①六郷の七夕まつり(舟ッコ流し)の開催 ②六郷カマクラ保存会への補助			
事業の対象	①六郷地区各町内会 ②六郷カマクラ保存会			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	735 千円	378 千円	1,615 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	郷土の誇りである伝統行事が地域で継承され、その活動を通じて地域活動が活性化する。			
実績・成果等 (数値)	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため同実行委員会において「川入り」は中止とした。練りまわりや七夕飾り等は各子ども会に実施判断を委ね、結果、18町内中3町内が実施した。運営主体を町から地域へ移行するための協議は引き続き行っている。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため六郷カマクラ保存会において「竹うち」は中止とした。天筆掲揚・天筆焼きは伝統行事継承のため実施することとし、感染症対策をしたうえで2月15日に実施した。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	①少子化の影響で子ども会(特に保護者)の負担が大きくなっている。運営主体について、核となる組織作りを模索しており、安定した伝統行事の継続と地域活動の活性化を図るため、協議等を重ねていく必要がある。 ②竹うちは2年連続の中止となったが、伝統行事継承のための意見交換を重ねていく必要がある。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	少子化の中、地域の伝統行事を末永く継承していくために、これからも地域の方々と行政との話し合いを深めていく必要がある。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	成人式事業	担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班	
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)	
事業の目的	新成人の門出を祝福するとともに、新成人の自覚と誇りを喚起し、社会参加意識の高揚を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 成人式実行委員会の開催(成人者の成人式企画運営の参画) 成人式の開催(式典、記念映像の放映、記念写真の撮影) 			
事業の対象	美郷町に在住する平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方または美郷中学校第3期卒業生			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	650 千円	143 千円	1,484 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	実行委員会では、できる限り実行委員に企画・運営に参加してもらうことを目標とする。 目標値 成人式への参加率80%以上			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会(5回実施):委員13人 実行委員の記念映像への取材の参加 ※新型コロナウイルスの影響により、式典開催を令和3年度に延期			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	成人式は、これまでの人生を振り返り、新成人としての自覚をもつ貴重な機会となっている。記念映像は「自分たちで作上げる成人式」の観点から、実行委員ができるかぎり自分たちで資料等を集めた。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できなかったが、実行委員として企画・運営に自ら携わった経験を活かし、今後地域等で中心的な役割を担っていくことが期待される。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	後三年合戦関連事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	平泉の世界遺産登録を契機として、後三年合戦の啓発を行い、地域の歴史研究の進展を図る。			
事業の内容	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会への支援			
事業の対象	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	40千円	0千円	40千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	後三年合戦を学ぶことにより、郷土の歴史の理解と郷土愛の醸成を図る。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業中止があり、町からの補助金なし。以下事業は会員の年会費のみで実施した。 (事業等実施状況) 令和2年度末会員数53人 6月28日 総会及び講演会(講師:室野秀文氏、参加者数 31人) 12月6日 後三年金沢柵公開講座(参加者数 15人) 1月9日 講演・座談会(講師:高本明博氏、参加者数 15人) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	地域の方々に構成する実行委員会が主体となって事業を実施しており、地域の方々が自ら郷土の歴史を学ぼうとする機運が高まっている。後三年合戦関連遺跡の調査はできなかったが、講演会等の実施により、後三年合戦に対する理解や興味が深まり、郷土愛の醸成につながっていることから、引き続き支援が必要である。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	わら細工文化事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3405)
事業の目的	地域の伝統文化の保存と伝承を図る。			
事業の内容	①わら細工伝承講座の開催 ②わらの文化交流事業の開催			
事業の対象	町内外の参加を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	282 千円	75 千円	827 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	失われつつあるわら文化の保存と継承を目的に「わら細工伝承講座」「わらの文化交流事業」を開催し、多くの方にわら文化の大切さを再認識してもらおう。			
実績・成果等 (数値)	①月1回、美郷わらの会と合同でわら細工伝承講座を開催し、受講者数20人がゾウリ、シベワラジ、しめ飾りなどの製作に挑戦した。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。代替事業として、「わら細工体験づくり」のワークショップを2月21日に美郷町住民活動センターで実施した。美郷わらの会の会員が講師となり、4歳～80歳代の町民52人が参加。わらを使った縄の緋い方や、緋った縄でリースを作成し、創作活動を楽しんだ。アンケート調査による満足度は93.5%であった。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	①講座を通して地域の伝統文化を保存し、郷土の文化に対する理解が深まった。受講者の一部は美郷わらの会に加入し、同会の運営にも寄与した。 ②代替事業は、幅広い年代の方が参加し、世代を超えた交流や触れ合いも見られた。親子参加も16組と多く、若い世代にわらの文化の大切さや興味が浸透してきており、今後もわら文化の伝承に寄与する事業内容を充実させていく必要がある。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	歴史文化財班	
		電話番号(内線)	0187-84-4040(3407)	
事業の目的	乳児と保護者が絵本を介して触れ合うきっかけを作り、行政や地域に支えられながら健やかに子育てできる環境を提供する。			
事業の内容	美郷町内に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児および保護者に絵本を手渡し、家庭での読みきかせや絵本遊びを推進する。			
事業の対象	美郷町に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児とその保護者			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	379 千円	363 千円	469 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	7ヵ月児、10ヵ月児とその保護者に絵本を贈ることで、親子で本に親しむことをきっかけとして、触れ合い、語り合うことで、親子のきずなを一層深める。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月行われる乳幼児健診の際に贈呈した。7ヵ月児74人(ブックスタートパック)、10ヵ月児67人(事前選択絵本2冊) 贈呈にあたっては民生委員、読み聞かせボランティア、子育て支援センターからも協力をいただいた。 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	保護者と個別に対話しながら絵本を贈呈し、ブックスタートの意義を理解していただいている。受け取ったその場で絵本遊びを始めるなど、保護者の反応も良く、絵本をツールに親子のふれあい創出や読書推進が図られている。また、親同士の交流の場にもなり、子育ての悩みを共有し、疑問解決の場にもなっていることから、今後も子育て支援の関係者の協力を得ながら進めていきたい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	読書環境向上事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3407)
事業の目的	活字離れや読書離れが問題となっていることから、読書への興味を喚起し、「読む・考える・表現する」ための習慣づけの一助とする。			
事業の内容	読書・図書館に関連した事業として、手づくりしかけ絵本教室、読書フェスタ、「心に残った本」の紹介コンクール等を開催する。			
事業の対象	参加を希望する方			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	472 千円	280 千円	1,730 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町読書フェスタ等、関連事業の実施により、幅広い層に読書への関心を喚起し、本に親しんでもらう。			
実績・成果等 (数値)	①8月8日 手づくりしかけ絵本教室の開催:参加者数55人(リモート開催) ②10月4日 美郷町読書フェスタの開催:参加者数延べ294人 ③「心に残った本」の紹介コンクールの実施:応募数618点(令和元年度比 △38点)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	<p>①新型コロナウイルス感染症対策のため講師とリモート接続し開催した。トラブルもなく双方向で講座が進行するよう工夫した。</p> <p>②③幅広い年齢層の方から参加いただき、本に親しみを持ってもらう機会を提供することができた。</p> <p>・図書館利用制限もあり貸出冊数は令和元年度より約10%減少したが、貸出者1人当たり貸出冊数は4.5冊(令和元年度4.2冊)と微増した。今後も読書習慣につながる事業を展開し、貸出冊数を増やしたい。</p> <p>・令和3年度から、3～7歳児を対象とする町オリジナル絵本作成に取組む。美郷意識の醸成と情操教育を内容とする絵本であり、令和5年度の刊行を目指したい。</p>			
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	町内の史跡等重要なものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、郷土の歴史や文化について学ぶ場所を提供する。			
事業の内容	町内の史跡等の維持管理、文化財等保存修復処理、文化財保護に関する啓発。			
事業の対象	指定文化財			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	3,305 千円	2,877 千円	4,310 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	町指定文化財の管理や歴史資料の修復等を行うことで、町の歴史について学習できる環境を整備する。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財等保存修復処理 町収蔵資料の六曲貼交屏風、二曲貼交屏風(本紙修復) 町指定文化財の施設設備管理 施設維持、本堂城跡管理、案内板整備、草刈り等 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	<p>A</p> <p>優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <ul style="list-style-type: none"> 町収蔵資料を適正に管理し、次世代に伝えていくことができた。 町指定文化財の施設設備を適正に管理し、学習環境の整備と郷土の歴史や文化に対する理解、文化財保護意識が醸成されており、今後も文化財を適正に管理していく必要がある。 			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	町指定文化財の維持管理は大変なことと思うが、これからも適正な管理に努めてほしい。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	埋蔵文化財調査事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	後三年合戦関連遺跡の調査を進めることによって、郷土の古代中世史を解明し、遺跡の保存・活用に努める。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古代中世遺跡の分布調査 ・圃場整備等開発行為に伴う遺跡の調査 			
事業の対象	町内遺跡(南鎧ヶ崎遺跡等)			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	10,644 千円	5,383 千円 <small>※人件費総務課管理</small>	7,328 千円 <small>※人件費総務課管理</small>
評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土史の解明されていない部分の研究を進展させる。 ・発掘調査や遺物の整理を行い、学習する機会を設けることで町の歴史に対する関心と理解を深める。 			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6月 発掘調査(寺田遺跡)平安時代の集落跡の一部を検出 ・6月28日 遺跡見学会(参加者数58人) ・後三年合戦関連遺跡の調査は、国庫補助金の大幅な減額により中止。 ・過年度の出土史料を歴史民俗資料館のリニューアルに合わせ、展示・公開した。 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	郷土史のこれまで解明されていなかった部分の研究が、調査を通じて少しずつ進展している。 また、調査成果を地域住民に公開したことにより、町の歴史への関心と理解が深まった。 圃場整備等開発行為が今後も実施されることから、関連する遺跡調査を継続し、見学会や報告会により町民の歴史に対する関心を啓発していきたい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	ニュースポーツ教室等事業		担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班	
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	生涯にわたり誰でも気軽に親しむことができるニュースポーツ教室を開催するなど、スポーツに親しむ機会を提供することによって、健康的なライフスタイルの充実と、健康増進を図る。				
事業の内容	ニュースポーツ教室、屋内ウォーキング教室、屋外ウォーキング、水泳教室の開催。(美郷町総合型スポーツクラブ委託事業)				
事業の対象	町民				
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	
	金額	803 千円	803 千円	803 千円	
評価年度目標 (目指すべき姿)	生活習慣の一部としてスポーツを行うことが参加者の健康増進につながるため、参加人数の増加に加え、定期的な参加を促進する。 目標値: 参加者合計人数 1,000人以上				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室(ユニカール・ラージボール卓球他):40回、参加者数 582人 ・屋内ウォーキング教室(ノルディックウォーキング他):40回、参加者数 374人 ・屋外ウォーキング:町内2回・町外9回、参加者数 延べ 152人 ・水泳教室(小学校1～3年生):4回、参加者数 20人 参加者合計人数 1,128人 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室、屋内ウォーキング教室は、新型コロナウイルス感染症対策により5月12日から開始し毎週1回開催しており、運動する機会の提供につながっており、新たなスポーツ種目の拡充が求められている。 ・屋外ウォーキングは各地の魅力あるコースを選定し行っている。 ・水泳教室は、参加人数が令和元年度に比べ少なくなったものの、子どもたちにとって水に慣れ、苦手なことを克服するために必要な教室であるので、今後も実施していく必要がある。 				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	冬期スポーツ教室事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	冬期における運動不足の解消とスキー技術の習得を図りスポーツに関わる機会を提供し、冬期間のスポーツ活動を創出する。			
事業の内容	町内の小学校低学年を対象としたスキー教室の開催			
事業の対象	小学校低学年(1～2年生)			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	18 千円	121 千円	156 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	子どもたちが冬期スポーツに親しむため及び冬期の運動不足解消へ向けたきっかけづくり。			
実績・成果等 (数値)	1月9日～11日に開催し、スキー教室の申込者数は69人(1年生26人、2年生43人)申込みで、当日の参加者は9日68人、10日69人、11日69人であった。指導に関わった美郷町スキー連盟の方は3日間で延べ40人、また、補助として美郷町スポーツ推進委員から3日間で延べ15人の協力をいただいた。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
事業の 方向性	申込者数、当日の参加率をみる限りニーズのある事業だといえる。冬期スポーツに親しむきっかけはもちろん、他小学校の児童や町スキー連盟の指導者との交流でコミュニティの形成にも寄与している。町スキー連盟の協力で開催しているが、スキー指導者の高齢化等から指導員の減少が今後懸念されるが、引き続き継続する必要がある。			
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
外部評価	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
	B	評価委員意見	住民の方々の要望について、外部団体と協議・検討の上、事業を実施した意義は大きい。これからも住民ニーズに寄り添った事業を推進してほしい。	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	少年スポーツ振興事業	担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	スポーツ振興班	
		電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	スポーツ少年団の活動を通じて交流や融和が図られるとともに、心身の向上や社会性を育み、青少年の健全育成を涵養する。			
事業の内容	スポーツ少年団に対する育成費用と上位大会出場の団及び団員(選抜)等に対し、派遣費用の経費を助成する。			
事業の対象	スポーツ少年団及び団員			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	2,757 千円	1,298 千円	2,461 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツを楽しみながら多様な価値観を認め合う機会を与え、青少年の健全育成を推進する。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団 20団体 393人が団員登録 ・選手派遣費補助 2団体 2大会へ補助(バドミントン、スキー) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
	判定説明 及び考察	スポーツ少年団の活動は親の会の協力体制の充実により活発に行われ、活躍も目覚しく各種大会で好成績を収めており、子どもたちの心身の向上や社会性を育む一助となっていると考えられる。今後も、スポーツを楽しむという概念をもって引き続き青少年の健全育成を推進していく必要がある。		
	事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
	外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	町民スポーツ大会事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	町民へ多くのスポーツ種目との出会いの機会を提供することで、交流機会を創出して、コミュニティの醸成と運動意識の向上を図る。			
事業の内容	中学校新人駅伝大会の開催に加え、14種目の町民スポーツ大会を美郷町体育協会に、ユニカール大会は美郷町総合型スポーツクラブに委託し開催。			
事業の対象	全町民、大仙市・仙北市・美郷町の中学生			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	2,414 千円	1,983 千円	2,786 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	健康づくりのために町民にスポーツを楽しむ機会の創出を図り、参加者の増加に繋げる。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校新人駅伝大会 10月27日開催:男子17校、女子15校(各校1チーム)参加 ・町民スポーツ大会 バスケットボール・バレーボール・卓球・グラウンドゴルフ・マレットゴルフ・テニス・相撲・パークゴルフ・野球・バドミントン・スキーの各協会が町民スポーツ大会を開催した。1,381人参加。 山岳・サッカー・ゴルフは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ・ユニカール大会 3月6日開催:13チーム 39人と小学生3人参加 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校新人駅伝大会は、新型コロナウイルス感染症対策により男女各校1チームの参加で開催となったが、競技者の意欲向上につながっている。 ・町民スポーツ大会は、地域の連帯感と世代間交流が図られている。 ・各大会が年代層への運動機会の提供につながっており、今後も、健康づくりのためにスポーツを楽しむ機会の創出を図っていく必要がある。 			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	スポーツ活動支援事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	スポーツの普及と定着化を進めるために、活動の核となる体育協会を育成し、町スポーツの発展のため、体育協会事業のスポーツ賞を支援する。			
事業の内容	町体育協会の運営、育成、スポーツ賞授与、バス遠征費を助成する。			
事業の対象	町体育協会及び加盟スポーツ団体			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	814 千円	768 千円	768 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯スポーツ振興のために体育協会の運営を支援し、加盟スポーツ団体の組織力強化に努める。			
実績・成果等 (数値)	町スポーツ賞の授与と体育協会を通して、18の加盟団体に育成費の助成を行った。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	町スポーツ賞は、町民がスポーツを行う上での一つのきっかけともなるため、継続する必要がある。体育協会加盟団体は、会員の高齢化傾向も見受けられるが、多くの町民がスポーツに参加できる環境づくりに努めており、今後も町体育協会に支援することにより、生涯スポーツの発展を図っていく必要がある。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

事務事業名	ホストタウン推進事業 (交流キャンプ推進事業)		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	タイ王国のホストタウンとしての相互交流の促進と2021年に延期となった東京2020オリンピックの機運醸成を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピックの機運を醸成する事業の実施 タイ王国との文化・教育・経済の交流推進 			
事業の対象	町民			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	交流 5,189 文化 380 千円	4,407 千円	20,053 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> タイバドミントンナショナルチームの事前キャンプの受入態勢を整備 タイ王国との国際交流の機会の拡大 			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 4月27日にホストタウン記念として作成した「オリジナルフレーム切手」が郵便局から発売され、このフレーム切手を発売と同時にタイ王国関係者に送付。 5月29日と6月10日に町関係者と美郷中学校が応援メッセージを作成し、タイ王国関係者に送付。95人参加。 東京2020オリンピック・ホストタウンPR展を12月12日から12月27日まで公民館で開催。 東京1964オリンピック展を1月5日から5月30日まで美郷町総合体育館リオスで開催。 株式会社北都銀行の特別協力により「タイを知るセミナー」を公民館において実施。10月25日の第1回に株式会社北都銀行営業推進部地方創生室の田中健史氏を講師に迎えて開催し、75人が参加。3月14日の第2回には株式会社北都銀行バドミントン部総監督の原田利雄氏を講師に迎えて開催し、72人が参加。 ヨネックス連携事業として、10月13日にソフトテニスの日本代表である林田和樹氏を講師に迎え、美郷中学校テニスコートを会場にソフトテニス教室を開催し、美郷中学校の男女ソフトテニス部員31人が参加。 <p>【新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月タイナショナルチームの事前合宿・7月26日～27日東京2020オリンピック大会バドミントン競技への応援派遣・8月19日～20日ヨネックス秋田マスターズ2020大会への応援派遣・9月25日～26日ダイハツネックスオープンへの応援派遣・12月タイ文化講座・12月タイを知るセミナー1回 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	新型コロナウイルス感染症拡大により東京2020オリンピックが延期したことで事前キャンプなどが中止となったが、タイを知るセミナー開催などのホストタウン推進事業を展開した。今後も町民がタイ王国の文化等に触れ、選手及び関係者との交流ができる場を提供し、2021年に開催される東京2020オリンピックの機運醸成を図るためにも、文化・教育・経済の交流を推進するなど、さらに事業を重点化する必要がある。			
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	部局評価のとおり

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策事業一覧

No.	事務事業名	担当課名	班名	令和2年度 評価
1	県外大学生等応援事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
2	大学生・高校生等応援給付金事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
3	学校給食費助成事業	教育推進課	教育総務・指導班	A

令和2年度

事業評価シート

コロナ対策事業

事務事業名	県外大学生等応援事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活が制限され、県外に在籍する学生には帰省を自粛していただくなど、親元を離れて不安を感じながら過ごしていることから、美郷町の特産品をお届けし、少しでも学生の皆さんの気持ちが和み、これからの学生生活が快適で有意義なものになることを願い実施する。			
事業の内容	県外で頑張る学生へ美郷町の特産品を届けることにより、ふるさと美郷から元気を与える。			
事業の対象	秋田県外に住む美郷町出身の学生で、県外の高等学校、専修学校・短期大学・大学・大学院等に在学しており、保護者が美郷町内に住民登録をしている方。			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	- 千円	1,437 千円	- 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	秋田県外に住む美郷町出身の学生で、県外の高等学校、専修学校・短期大学・大学・大学院等に在学しており、保護者が美郷町内に住民登録をしている方に対し、美郷町の特産品を贈呈する。			
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 申請受付を窓口や郵送によるものの他、インターネットでも受付を行い、学生等が申し込みしやすいようにした。 美郷町特産品 贈呈者数 (高校生:4人、大学生等:188人) 			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> 県外に住む学生やその保護者に応援事業の内容をお知らせするため、町ホームページや町広報紙に掲載し、周知を図った。 該当となる学生全員に特産品を贈ることができた。 			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する ※単年度事業のため該当なし			
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

コロナ対策事業

事務事業名	大学生・高校生等応援給付金事業		担当課名	教育推進課	
総合計画の施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学生のアルバイト収入や保護者の収入が減少するなどして、修学費用の確保が困難となっている美郷町出身の学生等に対し、勉学意欲を支援するために実施する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 美郷町出身の大学生等本人及び美郷町に住所を有している高校生等の保護者に対し給付金を支給する。 大学生等本人(給付金額5万円)、高校生等の保護者(給付金額2万円) 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 基準日【令和2年7月1日】において、学校教育法に規定する大学・大学院・短期大学・高等専門学校(第4学年、5学年)又は専門学校に在学し、大学生等の保護者が基準日において美郷町に住所を有している大学生等本人 基準日【令和2年7月1日】において、学校教育法に規定する高等学校・高等専門学校又は高等専修学校に在学し、高校生等の保護者が基準日において、美郷町に住所を有している高校生等の保護者(ただし、H16. 4. 2生～H17. 4. 1生まれの高校1年生の保護者を除く) 				
	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	
事業費	金額	- 千円	21,108 千円	- 千円	
評価年度目標(目指すべき姿)	美郷町出身の大学生等本人及び美郷町に住所を有している高校生等の保護者に対し、給付金(大学生等本人5万円、高校生等の保護者2万円)を支給し、勉学意欲を支援する。				
実績・成果等(数値)	<ul style="list-style-type: none"> 申請受付を窓口や郵送によるものの他、インターネットでも受付をおこない、学生や保護者等が申し込みしやすいようにした。 申請者 合計569人 給付金額2,100万円 <ul style="list-style-type: none"> <内訳>大学生等316人、金額1,580万円・高校生等保護者253人、金額520万円 				
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明及び考察	<ul style="list-style-type: none"> 県内外に住む学生や高校生の保護者に給付金事業の内容をお知らせするため、町ホームページや町広報紙に掲載し、町内外に広く周知を図った。 該当となる学生及び保護者全員に給付することができた。 				
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		※単年度事業のため該当なし		
外部評価	A		評価委員意見	部局評価のとおり	

令和2年度

事業評価シート

コロナ対策事業

事務事業名	学校給食費助成事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響による保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費の一部を助成する。			
事業の内容	児童生徒の保護者が支払った令和2年4月分から7月分までの給食費に相当する額を、保護者へ助成する。			
事業の対象	美郷町立小中学校に在籍し、かつ町内に住所を有する児童生徒の保護者。 ただし、次のいずれかに該当する場合は、助成金の交付を受けることができない。 ・生活保護法に規定する教育扶助の支給を受けている。 ・美郷町就学援助規則の規定により給食費の支給を受けている。 ・給食費を滞納している。			
事業費	年度・区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	- 千円	21,686 千円	- 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	児童生徒の保護者が支払った令和2年4月分から7月分までの給食費に相当する額を、保護者へ助成する。			
実績・成果等 (数値)	【助成金交付】 ・保護者・・・合計787人 ・助成金・・・合計21,541,321円			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
判定説明 及び考察	児童生徒の保護者が支払った令和2年4月分から7月分までの給食費に相当する額を、保護者へ助成し、新型コロナウイルス感染症の影響による保護者の経済的負担を軽減することができた。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	※単年度事業のため該当なし		
外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり	